

平成 21 年 2 月 9 日

2008 年度日本気象学会関西支部 第 3 回例会(近畿地区)プログラム

日時：2009 年 2 月 21 日(土) 13 時～17 時過ぎ(開場 12 時 30 分)

場所：神戸大学 六甲台地区 瀧川記念学術交流会館

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 (TEL: 078-881-1212 (大代表))

<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/bun-ri-nou.htm>

発表時間 1 題 15 分(発表 12 分+質疑 3 分) *は発表者

開会の辞 日本気象学会関西支部長 瀧上哲秀(大阪管区気象台)

セッション1(13時15分～14時15分) 座長:向川 均(京都大学防災研究所)

1. 自然対流時に生じるセル状対流と微細渦の構造への格子幅の影響
*大野 洋・竹見哲也(京都大学防災研究所)
2. ISCCP 低層雲量データの長期トレンドに対する衛星視野角の影響検証
*大瀬民志・西 憲敬・里村雄彦(京都大学大学院理学研究科)
3. 偏西風波動による南系低気圧の発生()
*坂田俊夫(日本気象協会関西支社)
4. カスピ海の水位を取り巻く状況～1995年3月12日から16日の事例～
*牧田広道(大阪管区気象台)

休憩(14時15分～30分) 15分

セッション2(14時30分～15時45分) 座長:松本 逸平(大阪管区気象台)

5. 日本海のメソ低気圧がもたらした神戸の大雪 - 2005年12月22日の事例 -
*廣田伸之(関西航空地方気象台南紀白浜空港出張所) 牧田 広道(大阪管区気象台)
6. 2007年3月31日の前線南下に伴う線状降水帯の構造
*今野 暁、小山 芳太、金森 恒雄(神戸海洋気象台) 堀川 和久、足立 誠(松江地方気象台) 瀬古 弘(気象研究所)
7. 2008年7月28日六甲山ろくで発生した大雨について
～その1:総観スケール解析と局地天気図およびアメダス解析～
*北村 光良、坂本 徹重、清水 栄一、松村 哲(大阪管区気象台) 金森 恒雄、小西 誠二、小山 芳太、泉 敏治(神戸海洋気象台) 草開 浩(神戸空港出張所) 毛利 浩樹(気象衛星センター)
8. 2008年7月28日六甲山ろくで発生した大雨について
～その2:空港気象ドップラーレーダーを用いた解析～
*草開 浩(神戸空港出張所), 北村光良・松村 哲(大阪管区気象台), 金森恒雄(神戸海洋気象台) 風早範彦・中村 剛・岡 俊宏・浅野 崇・田尾孝幸(関西航空地方気象台)
9. 2008年7月28日六甲山ろくで発生した大雨について
～その3:1分値とモデルを用いた解析～
*小山芳太・金森恒雄・小西誠二・泉 敏治、根本和宏(神戸海洋気象台) 松村 哲・北村光良(大阪管区気象台), 草開 浩(神戸空港出張所), 瀬古 弘(気象研究所)

休憩（15時45分～16時00分）15分

セッション3（16時00分～17時00分） 座長：大澤 輝夫（神戸大学大学院）

10. 冬季日本海気象シミュレーション：微物理スキーム依存性について
*前田裕子（九州大学大学院総合理工学府）、山本 勝・広瀬直毅（九州大学応用力学研究所）
11. メソ気象モデルによる海上風計算精度向上に関する検討
*谷津 健・嶋田 進・大澤輝夫（神戸大学大学院海事科学研究科）、芹澤重厚・米田 格（京都大学防災研究所）
12. 大気・海水中一酸化二窒素（N₂O）自動測定器の開発と試動
*阪本健太郎・山下栄次（岡山理科大学技術科学研究所）、大屋充生（神戸大学海事科学部）、林 美鶴（神戸大学自然科学系先端融合研究環内海域環境教育研究センター）
13. 対馬暖流分枝説の検証 - データ同化の結果 -
*小林亮祐（九州大学大学院総合理工学府）、広瀬直毅（九州大学応用力学研究所）

閉会の辞 海洋気象学会理事長 大山 準一（神戸海洋気象台）

懇親会 例会終了後 17時30分頃から終了後(17:30～19:30)に懇親会を行う予定です。場所は神戸大学生協 文理農学部キャンパス LANS BOX店 2階（地図の黄色の矢印の建物）。会費は一般3000円、学生1500円です。多くの方のご参加をお願いします。

会場付近地図

交通：JR「六甲道」駅、阪神電車「御影」駅より市バス。市バス…神戸市バス36系統（鶴甲団地行、鶴甲2丁目止まり行）「神大文理農学部前」下車。
阪急電車「六甲」駅からは徒歩15分から20分。

